

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	群馬県	市町村名	藤岡市
プロジェクト名	特別支援教育プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 藤岡市では、個性あふれる時代を担う学習文化の都市を目指して「未来の藤岡市」を担う、豊かな人間性と高い知性、たくましい意思力と創造的な個性をもった心身ともに健康で規律ある人間の育成を目指して教育を推進しているが、不登校や一斉指導では十分な学力を保証できない児童生徒が年々増加していることが、各学校の緊急的な教育課題となっている。 そのため、様々な特別教育支援を行うことにより、「未来の藤岡市」を担う、児童生徒の自立を促す。</p> <p>(具体的な成果目標) ○不登校児童・生徒の小学生0.2%、中学生1%の削減目標。 ○引きこもり傾向の児童・生徒をにじの家通級を実現させる。 ○にじの家児童・生徒の学校復帰の実現。 特別な支援を必要とする児童・生徒については、それぞれの障害の程度に応じた指導が必要となる。その際、程度に応じた指導計画を作り、その子にあった手立てを講じ個別の指導が必要である。こうした指導を充実し、将来の就職や進学における自己実現を図る。</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度から21年度	政策分野の分類	(~)
住民への公表の方法(ホームページアドレス等)	広報及びホームページ		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)	
にじの家運営事業 (不登校対策)	不登校対策の拠り所となっている「にじの家」では、現在7人前後が通級し、指導員の指導のもと学校復帰に向け、学習指導・生活指導を行っている。	12,036 (4,012)	
教員助手設置事業	心身に障害を持つ児童生徒は、養護学校や各学校の特殊学級及び通級指導教室で個々の教育ニーズに合わせ、特別な支援を行う。近年は障害の程度が重度であったり、障害が重複化したりする例が増えている。本市には、病弱以外の養護学校がないため、養護学校の学習が適当である児童生徒が特殊学級で学習していることも多く、教員助手や通級指導教室の助手が必要となっている。	62,277 (20,759)	
適応指導員設置事業	学校での一斉指導においても個に応じた教育支援が求められる中、全国調査でLD、ADHD等、情緒面で障害を持つ児童生徒が6%程度いるという調査結果が出されたように、本市においても、一斉指導では十分な学力を保証できない児童生徒が見られる現状に対し、平成19年度より小中学校全校16校に適応指導員を配置し、個に応じた教育支援を行う。	40,128 (13,376)	
総計		114,441 (38,147)	
その他特記事項			